

平成30年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	<p>①教育界における動向や生徒の実態を踏まえたカリキュラム・マネジメントに取り組む。</p> <p>②生徒の確かな学力と学び続ける力を育み、主体的に学ぶ意欲を高める組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>①生徒に身につけさせたい力を明確にした教育課程の運用を行う。</p> <p>②生徒の確かな学力と学び続ける力を育み、生徒が自ら課題を発見し解決するための思考力、判断力、表現力を育成する組織的な授業改善に取り組む。</p>	<p>①年間指導計画に基づき、生徒が見通しをもって授業に取り組めるようにするとともに、各教科における生徒に身に付けさせたい力の育成と評価について、組織的に取り組む。</p> <p>②「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善のテーマを設定し、学校全体で取り組む。</p> <p>③「生徒による授業評価」及び各種調査による学びの実態把握を踏まえた授業改善を組織的に行う。</p>	<p>①年間指導計画に基づいた授業を行い、生徒に身に付けさせたい力を育成することができたか。(生徒による授業評価結果等)</p> <p>②教科横断的な研修など、効果的な授業改善に組織的に取り組むことができたか。(研修会の開催状況、生徒による授業評価結果等)</p>					
2 生徒指導・支援	<p>①基本的な生活習慣を確立させるとともに、安全教育や健康教育をとおして、マナーや規範意識、いのちを大切にしている心、他者を思いやる力を育む。</p> <p>②生徒会活動をとおして、生徒の主体的な活動を支援し、自主・自律の精神を養う。</p> <p>③生徒一人ひとりが抱える課題にきめ細かな対応ができる組織的な支援体制の充実を図る。</p>	<p>①いのちを大切にしている心を基盤として、人権意識を向上させる。</p> <p>②部活動、ボランティア活動等、生徒会活動の参加人数を増加させる。</p> <p>③生徒支援に向けた職員の意識向上を図り、組織的な支援体制を強化する。</p>	<p>①人権教育講話の開催等、いのちを大切にしている心を育む教育プログラムを実施するとともに、周囲への配慮、思いやりのある行動を促す生徒指導を展開する。</p> <p>②積極的な広報活動や部活動見学の機会の設定等により、生徒会活動や部活動の魅力伝え、生徒の主体的な参加を促す。</p> <p>③スクールカウンセラーとの連携により、教職員を対象とした各種研修会を企画・実施する。</p>	<p>①生徒の人権意識を向上させることができたか。(生徒アンケート)</p> <p>②生徒会活動(部活動、委員会等)やボランティア活動を活性化させることができたか。(参加人数前年度比)</p> <p>③スクールカウンセラーを十分に活用することができたか。(スクールカウンセラー活用状況) 職員の意識向上が見られたか。(職員アンケート)</p>					
3 進路指導・支援	<p>①社会的・職業的な自立を視野に入れた進路実現に向けて主体</p>	<p>①クラス、学年、学校全体を単位とする進路指導・支援を体系化し強化</p>	<p>①クラス、学年、学校全体を単位とするガイダンス(説明会、講演会等)を1年間を見通して計画</p>	<p>①規模(クラス、学年、学校全体)を生かしたガイダンスが計画的に実</p>					

	視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価(月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
		的に取り組む態度と能力を育成する。 ②ガイダンス機能と相談支援体制の充実を図る。	する。 ②生徒一人ひとりの進路実現に向け、3年間を見通した伴走的な進路支援を行う。	的に実施し、学年を超えて情報を共有化・体系化する。 ②キャリアサポーターと連携した相談支援や各種講演会の実施等、生徒の個に応じた支援を行う。	行ってきたか。(計画策定の状況、ガイダンスの機会の設定(回数)、規模(クラス、学年、学校全体)を生かした進路支援プラン) ②生徒一人ひとりに寄り添った進路支援が実施できたか。(相談件数、進路実績)生徒・保護者のニーズを捉えた講演会を実施できたか。(講演会実施回数及び参加人数)					
4	地域等との協働	①地域や保護者との連携を深め、協働の幅を広げるとともに、地域等の教育力の活用を図る。 ②学校からの情報発信を積極的に行い、地域や保護者に信頼される、開かれた学校づくりを推進する。	①地域との連携事業を充実させ、生徒の社会参画意識やコミュニケーション能力の向上を目指す。	①本校生徒と、青葉区、地域住民、中学生が協働して地域の課題解決に取り組む「市ケ尾ユースプロジェクト」や、その他の特別教育プログラムを実施し、その取組を通して、生徒の発表・発信の場を積極的に設ける。	①市ケ尾ユースプロジェクトに参加する生徒の社会参画意識やコミュニケーション能力を高めることができたか。(生徒アンケート)					
5	学校管理 学校運営	①教育に関する国や県の動向を全ての職員がよく理解し、教育環境の変化に速やかに対応するとともに、協働により多様な課題に取り組む学校運営を実践する。 ②校内施設・設備の管理を徹底し、校内美化に努める。 ③防災体制の強化を図るとともに、事故・不祥事防止の徹底を図る。	②校内の施設・設備を調査し、有効に活用できるようにする。 ③組織的な防災体制を強化し、災害時に地域と連携した対応が行えるようにする。	②校内の施設・設備を調査し、デッドスペースや有効に活用されていないスペース(部屋)を洗い出し、有効に活用できるよう使用方法や運用方法を改善する。 ③防災用品等の保管場所や運用方法を全職員で共有するとともに、非常時に地域と連携した対応が取れるよう、マニュアルを改訂する。	②使用できていないスペースが有効活用できるようになったか。(新たな活用スペース数等) ③組織的な防災体制が強化できたか。(職員アンケート) 非常時に地域と連携した対応が取れるよう、マニュアルが改訂できたか。 (マニュアルの改訂状況)					